

製造品出荷額等は過去最高

昭和五十四年一年間の、市内の工業活動状況を調査した工業統計調査の結果が、この

ほどとまりました。本市の昨年一年間の製造品出荷額は、百四十九億四千五百九十八万円で、これを産出した事業所数は八百八十八事業所、従業者数は一千五百一十一人でした。昨年と比べ、事業所数が二事業所減少したものの、従業者数は六十五人、製造品出荷額は二億三千八百八十八万五千円と、前年比で二億二千九百万円の増加を示しました。また、従業者一人当りの製造品出荷額は九百八十九万五千円となり、前年比で九十一万円の増加となりました。

従業者規模別・産業別事業所数等

区分	事業所数	従業者数	製造品出荷額等(万円)
1~3人	33	77	40,229
4~9	33	193	94,532
10~19	22	308	251,017
20~29	5	127	55,049
30~49	9	337	412,755
50~99	5	344	425,826
100人以上	1	125	215,190
総数	108	1,511	1,494,598
食料品	29	615	594,271
繊維工業製品	4	25	11,271
化学工業製品	5	105	33,475
木材、木製品	4	83	136,879
家具、装飾品	3	—	—
パルプ、紙、印刷品	5	116	342,184
出版、印刷品	2	—	—
窯業、土石製品	13	163	138,095
金属製品	15	121	159,700
一般機械器具	12	79	30,516
電気機械器具	6	90	10,757
輸送用機械器具	3	39	17,716
その他の製品	7	58	11,128

※ 秘密を守るため一部の数字は、表わしませんでした。

生きて農業を、この目で農業後継者が研修会



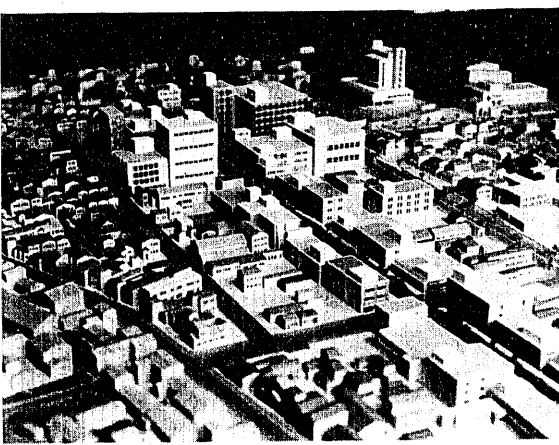
すでに花をつけた蓮華さんのハウスブドウを見学する農業後継者のみなさん(下大谷内)

今春、中学校卒業後就職を予定している生徒や農業関係の高校へ進学を希望している生徒を対象とした研修会が、三月六日、市農業後継者対策協議会の主催で開催されました。この研修会は、若い農業後継者が、先進農家や農業振興のための施設等を見学し、農業の見識を高める目的のもので、女生徒を含め、三十八人が参加し、葛塚農協の集出荷場や、先駆の酪農や施設園芸経営など、生きた農業を勉強しました。

お買い物は地元で 小売業者が懇談会

「小売業の代表者懇談会」が、二月二十五日、中央公民館で開かれました。市街地の商店街の代表者九人と市商工課、それに商工会が出席したこの会合は「顧客の市外流出防止」について、終始、熱く意見が交換されました。市は、新潟市や新潟田市の中間に位置しており、小売業者が、商業機能を充実しても消費者がそれらの都市へ流出しているのが現状となっています。これに対処する一つとして商店街の近代化事業を検討していますが、現状において、他市へ流出するお客を、どのように地元商店街に結びつけるか、小売業者にとって大きな課題となっています。小売業者は、市外へ流出防止策として、消費者が「何を

望んでいるのか」を、これが一層勉強し、お客に誘ってもらおうと、努力を重ねています。この懇談会の主な意見をひらいてみました。○郷土愛について A「商業者も含めて、ややもすると郷土愛が薄れてゆく面がみられる。郷土というものに心をもち、郷土に商店経営を工夫していきなさい」 B「郷土愛の意識の高揚は、非常に重要なことであり、商店街も、おおいに努力したい」 C「買物は、是非地元で。のキャッチフレーズを行いたい。特に、本市の商店街で需要が満たされるものについては、サービス等の面で、市外に劣らぬ努力をしたい」 D「郷土に愛を持つような名物のものはないか。また、それを育てるには、どうすべきか、商店街でも研究してみたい」 E「祭り催物等を、市全体で盛りあげよう」 ○経営改善等について A「お客がどのような商品やサービスを望んでいるのか、これからは、時代の変化に対応して調査努力していく」 B「個々企業の努力も必要だが、商店街全体としての魅力ある行事や街づくりなども欠かさない」 C「これからは、若い後継者も参加し、力を発揮できるような環境や企画も必要である」



本町区画整理の模型完成

商店街の改造を目的とする本町区画整理の模型が完成しました。市では、本町区画整理の原案を練ってきましたが、その構想がまとまりました。五十五年からは、関係者に対する説明会などを開きますが、その説明資料として、模型を作成したものです。中央を斜めに走るのが本町通りで、その右側の道路は現在の町浦川です。本町通りと常盤町の間には新しい道路が走っています。中央の高い建物は、下町十字路です。

市道の舗装一七・一五

今年度の市道舗装延長は、一万九千二百メートルでした。これに東急電鉄から引き継いだ朝日町の舗装道路六千七百六十メートルを加えると、これまでの舗装延長は一七・一五キロメートルに達する。舗装率は五三・六パーセントに達する。建設課では、明年度は二千万円を要する。舗装率を六〇パーセントに引き上げたいと言っています。

除雪費一千五百五十万円

一月と二月の雪は、マラソン雪といわれましたが、このための市の除雪費は、一千五百五十万円に達し、市の建設課では試算しています。除雪路線は、市道の約八五パーセントに達する。除雪車の出動延べ台数は、六百七十二台でした。雪が降ると、建設課のパトロール班は、二つに分れて、時間は道路の状況を見て、本部に報告、必要に応じて除雪車は、午前二時から出動でした。建設課では、除雪に苦情電話はつきものと聞いていますが、多いときには一日百五十本、一日平均で五十本もあり、ときには除雪作業の妨げになることもあったと言っています。

市の市道除雪車八五台は、新潟土木事務所管内七市町村のうち最高の除雪車二台は六四台、最低は二〇台でした。なお、先月号の編集室で、一日の最高降雪量が七十二センチとありましたが、積雪量の誤りでした。お詫びし、訂正します。